

議会軽視の庁舎設計変更 契約変更で2000万円増加

愛西民報

2016年
1月・2月
第45号

〔発行〕
日本共産党
愛西市委員会

真野和久市議会議員 (26) 1465
加藤敏彦市議会議員 (28) 3696
河合克平市議会議員 (25) 7702

169項目の設計変更を一括で提案 増額1億円・減額8000万円

2015年12月議会では、新庁舎建設と旧庁舎の改修事業の中で、当初の設計から169項目の設計変更で、約2000万円を追加する議案が賛成多数（共産党は反対）で可決されました。

昨年4月から使用中の 新庁舎の分まで提出

今回の契約変更では、昨年4月から使用している新庁舎の分まで、半年以上過ぎた12



共産党市議団 「一括提案は議会軽視」と批判

日本共産党市議団は「契約変更は決まった段階で提案されるべきもので、今回の一括提案は議会軽視」と批判。市は「法的に問題はない」

市への申請書類

マイナンバー「書かなくてもOK」

番号未記入でも受け付け

1月から運用が始まった「マイナンバー」制度。市役所への提出書類に個人番号を書くよう求められますが、書かなくても今まで通り受理されます。

ペナルティも遅延もなし

12月議会の質疑の中でも、共産党市議団の「書かない書

開き直っていましたが、副市長は「昨年度の方は分けたほうがよかった」と委員会を答弁しました。

今後支所の改修で さらに膨らむ事業費

今年4月から、ほとんどの職員は本庁に移り、佐織、立田、八開の支所は大幅に縮小されます。さらに支所の改修が始まり、庁舎統合事業費は、ますます膨らみます。

類も受け付けるか。書かないことで遅延などの不利益はないか」との質問に、市は「記載のない場合も受理する。記載がないことを理由とした手続きの遅延はないようにしたい」と答えています。

手続きは今まで通りで

今まで通り、免許証など本人確認の出来るものを提示してください。



安保法制（戦争法）廃止の署名に ご協力ください

戦争法案に反対してきた「総がかり行動実行委員会」が2000万人署名を呼びかけています。愛西市でも、毎月19日にヨシツヤ佐屋店前、ハッピーさおり前での署名活動を予定しています。市民のみなさんのご協力をお願いします。

納得できない！

「施設使用料の見直し方針」案

■日本共産党は、市民の文化スポーツ活動などを活発に行ってもらおうことが大切と考え、公共施設は、無料または安価に利用できるべきだと考えます。

今回の方針は、利用料値上げだけでなく、減免制度も改悪しようとしており、多様な市民活動を支援する方向から逆行する方針は、撤回を求めます。

順序が逆ではないか？

有料化は仕方がないことかもしれないが、順序がさかさまだ。立派な庁舎を建てて、財政が厳しいから、市民に負担をもとめるとは納得がいかない。

愛西市東保町 男性

健康維持の場を奪わないで

健康維持のため、グラウンドゴルフをしているのに、「見直し」によって、グラウンドゴルフをすることが少なくなり、高齢者の健康維持の場を奪ってしまつては、逆効果になる。減免の拡大をしてほしい。

愛西市善田新田 男性

日本共産党発行

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

【日本共産党議員の一般質問】

図書館運営に

指定管理は大問題



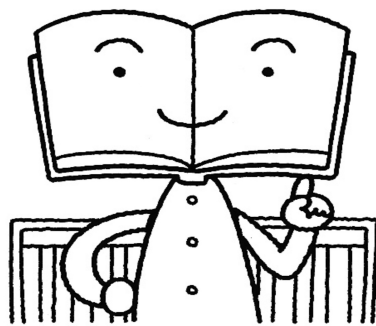
まの和久
議員

図書館の運営をめぐっては、自治体の指定管理を受けたツタヤは独自の本の並べ方をし、本が探せないとか、開館にあたって系列の古本屋から大量の本を仕入れたなどの問題が明らかになってきました。小牧市では、先の市議会議員選挙と同時に行われた住民投票で市の計画は否決されました。

まの和久議員は、「指定管理では安上がりでの運営がされるだけだ。図書館の継続性や専門性が維持できない。直営でも民間に負けないようアイデアを出してがんばっているところもある。直営で運営す

まの「不安定な指定管理では専門性の維持はできない」

べき。直営でやっていけるのではないかとただしたのに対し、教育部長は、「様々な市民要求もあり、これらに配慮するため、よりよい方法を検討していく」と指定管理を含めた運委の検討を進めていく姿勢でした



島田浩副議長の飲酒後運転問題 住民感情に沿った対応を

島田浩副議長の飲酒後運転問題に関する記事が、中日新聞で2回にわたって報道されました。

わたくしはこの間、多くの市民にお会いしていますが、厳しい批判の声ばかり聞きました。

「副議長という議会の代表者の一人が飲酒運転しても『厳重注意』ですまして良いのか」「職員なら首になるような事件」「自ら責任を取るのが常識ではないのか」など、西保町も含め元職員など二十数名の方から批判の声を聞きました。

今年、海部津島の交通事故死が昨年と比べ8倍と急増し、愛西市も交通事故死の大幅削減のために努力をしています。交通安全のための市民大会において、飲酒運転禁止は、第一のスローガンです。議会は議長の「厳重注意」という処分をしましたが、島田副議長は、副議長の辞職もせず仕事をしているのは、住民感情からいっても疑問を感じざるを得ません。

島田議員が議員全員協議会で「飲酒運転には当たらないとする県警FAX」を出すと約束したが出さないの、共産党議員団が提出を求めました。しかし島田浩議員は「破棄した」と回答。島田議員のこの対応は驚きです。島田議員は、副議長という立場の重さを認識し、「きれいな出处進退」をしてほしいと思います。

議会も交通安全の重要性を認識し、あいまいな対応はやめるべきです。

日本共産党前愛西市議 下村一郎

統合庁舎事業について



かとう敏彦
議員

かとう「八開庁舎を第2災害対策本部に」
市「八開庁舎は代替施設としての機能を満たしている」

総務部長は「代替施設として八開庁舎が機能を満たしていると考えている。」と対応することを表明しました。

かとう

「支所整備の現状は」

かとう敏彦議員は「鬼怒川の決壊により、常総市役所も浸水し孤立した。愛西市役所も、日光川などが決壊すれば、孤立するがどう考えるか。市役所が浸水で孤立した場合、八開庁舎に第2災害対策本部を設置するべきだ」と質問。

かとう議員の「支所の整備について、現状はどうなっているか」との質問には、総務部長は、「立田庁舎は、2期増築棟の健全度調査及び耐震診断業務を実施している。

小中学校の適正規模は 議論をつくして



河合かつぺい
議員

現在、愛西市では、少子化、人口減少が進んでいるなか、小学校、中学校の「適正規模」についての協議会が設置され、検討が進められています。

議会が3回行われ、10月、11月に開催した地域懇談会の方針などを協議した。来年の10月ごろには、計画を策定したい」と答えました。

河合「小規模校のメリットを最大に」

「学校が統廃合されるのか?」「あまりに少人数では不安」との声がある中、河合かつぺい議員は、愛西市の児童生徒にとって一番良い学校のあり方をと協議されているが、現在までの経緯はどうなっているか質問しました。

河合議員は、小規模校については、現状のまま、メリットを最大にし、デメリットを最小にする方法を求めました。教育部長からは、その内容も協議会に諮っていくと答弁



八開庁舎は、公共施設の再編の考え方や利活用の検討を進めている。

佐織庁舎は、3期増築棟の健全度調査及び実施設計業務を実施している。平成28年度に実施整備工事、平成29年度から支所として全面供用を予定している」と答えました。



がありました。

河合「統廃合ありきではないのか」
市「まだ決まっていない」

河合議員の「行政改革として統廃合ありきでは」との質問には、「決まっていない」と答弁がありました。